

# 中小連携で全国展開

## セイコー運輸 ノウハウ提供

### 高齢者向け引越サービス

セイコー運輸（大阪市住之江区、宮高浩社長、06・6682・1359）は、高齢者向け事業などについて、全国の中小運輸業者とノウハウ指導契約および商標使用許諾契約を結び、サービス地域を拡大する。自社商標ブランドの普及を図るとともに、大手の下請けなどで価格決定権がない中小業者が多いなか、地域密着の強みを生かせる自社サービスとして活用してもらおう考え。11月までに8都道府県で展開する。

対象の事業は高齢者向けに引越などを行う「シルバー住むーぶ」と、時間課金制トラック便「タイムレンタル住むーぶ」。5月に豊田運送

（東京都板橋区）が東京都と埼玉県で、7月にカロ力急配（滋賀県守山市）が滋賀県で事業を始めた。今後は9月に奈良県と神奈川県、10月に広

島県と兵庫県、11月に岡山県にある各社と契約を結ぶ。セイコー運輸は営業手法やサービス理念、高齢者への配慮のポイントなどを指導する。ノウハウ指導料は市場規模によって異なり数万円。広告などに用いる「住むーぶ」商標の使用許諾契約料は月1万〜3万円。売り上げに対するロイヤルティーなどは取らない。

「シルバー住むーぶ」はヘルパー資格を持つ社員が、引越時に家具の配置を提案するなど高齢者への知識を元にサービスを行う。年間売り上げ5

05万円と、5年間で2・7倍に拡大した。ヘルパー資格取得は契約先会社も必須条件。「タイムレンタル住むーぶ」は時間課金制でトラックと運転手がつくサービスで、人手がある場合に依頼者が手伝えば時間が減り、低料金で利用できる。

11月以降は北海道、静岡県、福岡県の各社と契約する見込み。東日本大震災で被災した岩手県、宮城県、福島県では高齢者のサービス需要が高いとみて、契約する中小運輸業者を募集中。被災3県での契約料は、後払いや減額などの免除措置も考えている。